

地域連携推進会議議事録

1. 事業所名 (福)松風会 清華学園

2. 開催日時 令和8年1月30日(金)

施設見学 (自) 10時30分 (至) 11時00分

会議 (自) 11時00分 (至) 12時05分

3. 会議会場 清華学園会議室

4. 出席者

清華学園施設長

清華ホーム管理者

地域の関係者 民生委員3名

利用者家族 1名

利用者 2名

島原市福祉課 1名

事務局 2名

5. 議事進行

1. 主催者挨拶

2. 構成員紹介

3. 議題

(1) 地域連携推進会議について

(2) 清華学園の現状について報告

(3) 意見交換・質疑応答

(4) 今後の予定について

(5) その他

6. 会議経過報告

※会議開催前に施設見学の目的・見学のポイントを説明した上で、全員で施設見学を実施

(1) 地域連携推進会議について

別紙資料1を出席者全員に配布した後、地域連携推進会議について事務局から説明する。

地域連携推進会議は令和7年度から住居型の障害福祉サービス事業者に年に1回以上開催が義務付けられたもので、その役割等は別紙1に示された通りとなる。会議の目的は①利用者と地域との関係づくり、②地域の人への施設等や利用者に対する理解の促進、③サービスの透明性・質の確保、④利用者の権利擁護となる。会議の構成員は利用者、利用者家族、地域の関係者、福祉に知見のある人、経営に知見のある人、市町村担当者などとされている。このうち利用者、利用者家族、地域の関係者は必ず選出することが必要とされている。職員、利用者との関係づくり、事業所の環境や事業運営の確認を目的に、構成員による施設訪問を行うことになる。施設見学や職員、利用者とのコミュニケーションを通じて、施設の環境、利用者、職員の様子などを確認することになる。会議では目的を達成するために、目的に沿った議題を設定し、構成員と双方向で意見交換できる議題を設定する。

出席者から、質疑等はなし。

(2) 清華学園の現状について報告

別紙資料2を出席者全員に配布した後、清華学園の現状について説明する。

別紙資料2に記載された内容に沿って、1. 利用者の状況、2. 虐待防止等の取り組み状況、3. 事故等の発生状況、4. 経営状況、5. 業務継続計画（BCP）の策定の状況、6. 行事等の紹介について説明する。

出席者から質疑等はなし。

(3) 意見交換・質疑応答

施設見学の感想等、出席者に意見を求める。

Q. GHでは避難用リュック等の準備はありますか？

A. GHとしての備蓄・準備はしているが個人個人としての準備はしていない。

GHの利用者が個人で避難というのは想定しておらず、障害をもった利用者という特性から清華学園もしくはGHのスタッフと一緒に清華学園に避難・待機を計画している。

Q. 利用者カードについてはGHの利用者は常にもっておく必要があるのか？

A. GH利用者については自分のことが話せたり、公共交通機関を利用できたりするため、当カードは常時持たせるものではないと考えている。（常時保持は個人情報等の漏洩リスクもあるため）

Q. BCPにおいてGH利用者は清華学園への移動が前提となっているがなぜか？

A. GHは24時間スタッフがいる場所ではなく、スタッフの支援が受けられない場合があること、建物の耐震性・集団避難や支援における効率性や安全性があるため清華学園への移動を想定している。

Q. 避難訓練等は定期的に実施しているか？

A. 年に4回（火災・夜間想定・防災・防犯含めて）実施している。

Q. 浴場での転倒等はあるか、また防止策はあるか？

A. 入浴での転倒等のリスクが高い場合には、機械浴等を利用している。

Q. おむつに関する補助金はありますか？

A. おむつ購入費に対する直接補助はない。食費や光熱費等への補助もあり、おむつ代による経済的な困窮は現在見られていない。

Q. GHでてんかんを持っている利用者等の入浴支援についてはどうなっているか。

A. 現在、てんかん持ちの利用者はいない。過去の事例では、日中利用施設にて入浴をしても

らい、一人での入浴にならないよう取り組んでいた。

Q. (利用者へ質問) 利用にあたって楽しみはありますか？

A. 休みの日の買い物が楽しみ。

A. みんなでコーヒーを作って飲んだりするのが楽しみ

(利用者家族) 施設を見学して、高齢者福祉と障がい者福祉でG Hのあり方が違うことを知った。入浴環境について、どこの施設も重度・高齢化が進み、機械浴やバリアフリー化など利用者の安全性や職員の負担軽減を進めていく必要があるなど感じた(当施設というよりも社会全体的な話で。)

いつ来ても施設利用者が楽しそうにしているが、当法人の施設の特徴であると感じている。

(4) 今後の予定について

地域連携推進会議の今後の予定について事務局から説明する。会議の開催については年1回の開催を予定している。令和8年度の開催時期については具体的な日程は未定であるが、適切な時期に予定し案内することになる。案内については遅くとも1か月以上前にはお届けするので、ご予約頂きたい。議題については、障害についての理解を深めていけるような議題を準備し、構成員の皆で学びを深めていければと考えている。

7. 議事録作成、記名押印

上記議事録は会議の内容を正しく記録したものであることを認める。

令和8年1月30日